

第15回 症例検討会

case27

2022年2月14日

70代 男性

主訴：夜間、胸部のチクチクした痛み

既往症：x-9年 前立腺がん(ステージ3)

大学病院で手術と尿道形成

内服薬：サキサグリプチン水和物錠(オングリザ錠) 5 mg

グリメピリド錠 1 mg

ロスバスタチンカルシウム錠(ロスバスタチン錠)2.5mg

アスピリン腸溶錠(バイアスピリン錠)100mg

メトホルミン塩酸塩錠500mg

プレガバリンカプセル(リリカカプセル)75mg

生活歴：退職者(x-9年)

アルコール(缶ビール350ml・水割り2杯/day)

喫煙(退職後辞めた)

現病歴：2型糖尿病 高血圧症 高脂血症
帯状疱疹後遺痛

- x-1年3月 国立病院機構にて帯状疱疹の診断.
- x 年5月 その後、痛みが残ったため、帯状疱疹後神経痛として、ペインクリニックの紹介を受ける.
- x 年8月 8月に入っても痛みのレベルに変化がないためご実家に帰ったお嬢様が心配して、鍼灸院に相談.
9月に鍼灸の運びとなった.

客觀的情報

x年9月

体温：36.2°

脈拍：75回/分

血压：180/93mmHg

SpO₂：98%

東洋医学的情報

証：気血両虚

寒熱：四肢の冷え 汗：盗汗 食事：晩酌

睡眠：浅い(夜間に痛い)

水滯：下腿 コリ・圧痛：頸から背中にかけて

脈診：細、微



治療

取穴:百会、背部兪穴、復溜、照海、壇中、標治(Th7,8)

刺鍼法:補法 浅刺 置鍼 +光線療法

得気:無

深さ:2~4mm

通電:無

頻度:1/w

経過

- x年9/3 初鍼. お嬢様より紹介. VAS値50/100. 動作時に痛む.
皮膚の傷み範囲3cm程度が数か所.
週一回の施術を一か月行ってみましょうと提案.
- 9/14 2鍼目. VAS値40/100. 諏訪湖にブドウ狩りに行ってきた.
- 9/20 TEL有. 入院. 尿道の具合に問題があったとの事.
- 10/6、13、20、27
3~6鍼目. VAS値50/100. 痛み方に変化なし.
それでも日中は痛み止めを飲まなくなったが、夜間は飲まないで眠れない。
- 11/5 TEL有. 緊急入院. 心筋梗塞の診断で開胸手術. 3本中2本が詰まっていた.
医師の話では、痛み止めや糖尿病薬により痛みがわかりずらかったのではとの事であった.

考察

- 連携、多科で診る重要性の再認識
- 油断していた点
 - 帯状疱疹後神経痛の診断があったこと
 - 部位が狭く皮膚の脱落痕が少なかったため
 - 経験的に早い段階で痛みが消失するだろうと思い込んでしまっていた
- シグナル(施術時に聞いていた)
 - 施術後に戻る痛み、繰り返す夜間痛、微脈

「代表的な心筋梗塞の痛み兆候」

胸が痛い	胸の圧迫感	胸やけ	背中が痛い	歯が痛む
顎が痛む	肩が痛む	気持ち悪い	だるい	

文献

ガイドライン

神経障害性疼痛薬物療法ガイドライン 改訂第2版(JSPC)

27.帯状疱疹後神経痛(慢性期)

https://www.jspc.gr.jp/Contents/public/pdf/shi-guide08_12.pdf

心筋梗塞二次予防に関するガイドライン(2011年改訂版)

https://www.j-circ.or.jp/cms/wp-content/uploads/2020/02/JCS2011_ogawah_d.pdf